

1. 「校務DXチェックリスト自己点検結果」における課題等について

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリストの自己点検結果」（文部科学省令和5年11月実施）を数値化した結果では、職員会議でのペーパーレス化や統合型校務支援システムの活用、オンラインを活用した研修などでは一定の成果が見られたものの、学校から家庭への紙文書の配付や提出文書に押印や署名を求めていること、クラウドサービスを活用した保護者との連絡体制の充実等が課題となった。そこで、以下の2～4を重点取組事項とし、校務DXを一層推進するものとする。

2. GIGA環境・汎用クラウドツールの一層の活用

学校と保護者双方の負担軽減を目的に、学校からの文書配付や保護者からの参観日等の出欠届や各種アンケートへの回答などを可能な限り汎用クラウドツールを活用したものに变更していく。そのためにも、全児童生徒及び全教職員に汎用クラウドツールのIDを付与するとともに、教務主任会やICT担当者会等を活用して、校務における効果的な活用の好事例を共有し、汎用クラウドツールの活用を推進していく。

3. FAX・押印・署名の見直し

村内全ての学校においてFAXが使用され、保護者や外部間において押印・署名が必要な書類のやり取りが行われている。校務の更なる効率化のためにも、FAXや押印等についての制度・慣行の見直しを行うとともに、各学校やFAXでの送付や押印を求めている関係団体・事業者等を把握し、制度・慣行の見直しを図るよう求める働きかけを行っていく。

4. 校務における生成AIの活用推進

業務の効率化や質の向上を図るため、生成AIの校務における活用について、国の実証研究における実践例等の情報を各学校に提供するなど、校務における生成AIの活用が推進されるよう支援していく。

5. 今後の計画目標

- 汎用クラウドツールのID付与及び活用に係る研修の実施（令和6年度～）
- FAX・押印・署名の見直しに向けての実態把握（令和6年度～）
関係団体への働きかけ（令和7年度～）
- 校務における生成AIの活用についての情報提供（令和6年度～）
研修の実施（令和7年度～）